



★ちいさなNIE実践記録集Ⅰ★



びびっと(PPT)研究会

子どもぴぴっとクラブマニュアルⅠ



★ちいさなNIE実践記録集Ⅰ★

ぴぴっと(PPT)研究会

再版にあたって

「新聞と楽しくふれ合おう」をテーマに、北上の小学生と培ってきた小さなNIE活動も10年になりました。今年度、参加してくれる元気な子どもたちの顔を見ながら、このいきいきした子どもたちの輪を、東日本大震災に被災した沿岸部の子どもたちにも届けたいと強く願うようになりました。

今回、平成23年度独立行政法人福祉医療機構助成(福祉活動支援事業)を受け、これまでのNIE活動をまとめた「子どもびびっとクラブマニュアルⅠ・Ⅱ」を再版できることになりました。各方面のご支援・ご協力に感謝申し上げますと共に、NIE活動を通して子どもたちの笑顔が広まっていくことを願っています。

子どものメディア・リテラシーを育てる 「子どもびびっとクラブ」

■ びびっと(PPT)研究会

会長 小笠原 味佐枝

新聞は生きた教材・身近な学習材です。「自ら課題を見つけ・自ら考え・自ら学び・主体的に判断する」ための新鮮な素材がぎっしり詰まっています。現在学校で行われている「総合的な学習の時間」では、現代社会の抱えるさまざまな問題を取り上げている新聞を活用した実践がどんどん進んでいます。

このマニュアルは、学校はもちろん家庭や地域・学童保育所・児童館など子どもたちの集まるいろいろなところでの活用を願って作成しました。

びびっと(PPT)研究会は、平成12年4月新聞をつくったり読んだり好きな仲間が集まり誕生しました。

最初は、PTA会報づくり講習会や親子新聞スクラップづくり講習会など自分たちでできることからスタートしました。

平成13年4月からは、地域の市立公民館を会場に月1回「新聞を読んで今を語る会」を実施しています。この語る会では、新聞を読み比べながら情報化時代の多様な情報の質を見分ける力をもつことがいかに大切かを実感しています。

社会の変化が少なかった時代には、伝統的手法や慣習を守っているだけでも生きていけたかもしれません。しかし、現在のように政治や経済だけでなく全ての分野で変化の激しい時代では、困難に対処できる力・情報を収集し解釈したり分析する力・創造したり企画する力などが求められています。“子どものメディア・リテラシーを楽しみながら育てるにはどうしたらよいのだろうか”暗中模索の活動開始でしたが、学校完全週五日制と呼応し、子どもたちと一緒に学び活動したいと願い、平成14年4月岩手県北上市に「子どもびびっとクラブ」を開設しました。

北上市内の小学生を対象に、年5回各2時間ずつの活動と他市町村での「出前子どもびびっとクラブ」など2年間にわたるささやかな実践を基に「子どもびびっとクラブマニュアル」を作成しました。また、独り善がりにならないように、全国新聞教育研究大会・NIE全国大会・東京都練馬区立大泉第二小学校研究発表会・独立行政法人福祉医療機構主催の子育て支援基金シンポジウムなどに参加し、学びながらまとめてみました。

今後はさらに実践を積み重ね、真に子どものメディア・リテラシーが育つための活動に取り組んで参る所存です。どうぞ忌憚のないご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

N I E 活動に新たな風が

■ 全国新聞教育研究協議会

会長 吉 成 勝 好

(東京都練馬区立大泉第二小学校長)

私がぴぴっと（P P T）研究会について初めて知ったのは、確か平成14年8月1・2日開催の第7回N I E全国大会札幌大会の時だったと思います。学校で新聞を使って授業を行うN I E（News paper in Education）は平成14年度から小・中学校で新学習指導要領による「総合的な学習の時間」が本格的にはじまったこともあり、徐々に浸透してきた時期でした。そのような中でこの研究会が地域の団体としてN I E活動に取り組んでいる実践を発表したことに、大いに注目致しました。

この時の新聞記事によりますと、《大会最終日の2日に開かれた分科会「N I Eオリエンテーション」で本県の民間任意団体・ぴぴっと（P P T）研究会は、新聞を読む地域活動の様子を紹介。現役教師や新聞社関係者によるN I E活動が大勢を占める中で「民間による取り組みは画期的だ」と参加者の注目を集めた。一略「今年は新たに子どもぴぴっとクラブを立ち上げ、写真や見出しを新聞から探すゲームなどを通じて、新聞を開く楽しみを伝えている」などと活動の様子を紹介。「N I E活動は地域住民、主婦らが広く参加して推進したい」と意義を強調した。一略》（平成14年8月19日岩手日報朝刊）とあります。まさに、N I E活動に新風／＼でした。

また、昨年1月には、私の大泉第二小学校で開催しました「進んで情報を創造し発信できる子の育成」をテーマとする研究発表会に、遠路はるばる本研究会から6人もの方々に参加していただきびっくり致しました。

このたび、今までの実践活動をまとめた「子どもぴぴっとクラブマニュアル」を発刊されますこと、誠に時宜を得たものとして嬉しく、心より敬意を表す次第です。

NIE(エヌ・アイ・イー)は、「News paper In Education」(ニュースペーパー・イン・エデュケーション)の頭文字をとったもので、日本では「教育に新聞を」と訳している。世界恐慌のただ中にあつた1930年代、ニューヨークの中学校の先生が、ニューヨーク・タイムズを教科書代わりに使つたのが、NIEの最初といわれる。全米規模で広がったのは、50年代の半ば、米アイオワ州が実施した「中学生の文字との接触調査」がきっかけとされる。

調査の対象になった5500人の約4割が、校门を一步出ると、全く活字に触れていないことがわかり、地元紙のデモイ

日本の歩み

小中3校でスタート いま389校、支援組織も

■ 日本におけるNIEの歩み ■

- 1985年 日本新聞協会主催の新聞大会で、NIEが提唱される
- 86年 海外のNIE事情の視察始まる
- 88年 日本新聞協会内にNIE委員会ができる
- 89年 教育界と新聞界の協力で、東京都内の1小学校、2中学校で、NIEの実験的なパイロット計画始まる
- 91年 大阪でもパイロット計画始まる。92年から新潟でもパイロット計画を全国に拡大し、28都道府県の66校が実施。95年度は、40都道府県の112校が実践
- 95年 NIEの実践教師で構成する海外NIE事情視察団が米国へ
- 96年 パイロット計画は、「NIE推進事業」へ移行。5年間で、全国小中高の1%に当たる、ほぼ400校の実践校の指定をめざす。96年度の実践校は218校
- 99年 7月、第1回NIE全国大会が東京で開かれ、41都道府県の教育・新聞関係者約260人が参加
- 2001年 実践校は324校
- 2001年 3カ年の第2次「NIE推進事業」始まる
- 03年 実践校は389校
- 03年 第8回のNIE全国大会が松江市で開かれ、教育・新聞関係者約600人が参加
- 04年 7月29、30日、第9回NIE全国大会が新潟市で開催の予定

ン・レジスターが米国教育協会と協力してNIEC(ニュースペーパー・イン・ザ・クラスルーム)校で、新聞を使って教室に新聞を運動を始めた。この運動を米新聞協会が引き継いで、NIEとなつて広がつたとされる。

若者の活字離れや新聞離れは、日本でも深刻になつた。86年から海外のNIE事情を視察するなど、調査・研究が始まり、89年には、東京都内の小学校1校、中学校2校で、新聞を使って教育効果などを確認する、実験的なパイロット計画がスタートした。

教育界と新聞界でつくる都道府県の推進組織も生まれ、パイロット計画は94年から全国展開となつた。96年からは、5年間で全国の小中高約4万校の1%に当たる400校を実践校に指定する推進事業が始まつた。5年目の00年に400校に達しなかつたため、01年から第2次の推進事業に入り、いまも事業を継続している。実践校は03年、389校になつた。

日本のNIEは、複数の新聞を読み比べて様々な違いを学ぶことが一番の特徴で、1面から最終面まで新聞を丸ごと活用する点もユニークだ。主体的に記事を活用することによって社会性を育み、多角的で豊かな批判精神を身につけた人づくりがねらいだ。

00年秋、横浜市にオープンした日本新聞博物館には、NIE全国センターがあり、NIEに関する内外の関連資料が閲覧できる。NIEの相談に

も応じ、運動の支援センターになつている。NIEは、英米や日本のほか、北欧のノルウェーやスウェーデン、南米、アジアなど、世界新聞協会の調べでは、少なくとも52カ国で行われている。アジアでは、インドネシアやシンガポール、タイ、中国(香港)、韓国、インドなど8カ国で活用されている。

取材を通して見る「ぴぴっと研究会」

■ 岩手日日新聞社北上支社

報道部記者 北村 亮

私が「ぴぴっと研究会」について取材するようになったのは、平成13年、小笠原会長から「新聞を読んで今を語る会（まうすりい）」の活動について紹介されたときからだった。以来、小学生を対象とした「子どもぴぴっとクラブ」など、さまざまな活動を取材する一方で、こちらからも無理な願いをすることも多く、大変お世話になっている。新聞作りに携わる者として、N I Eを実践するぴぴっと研究会の活動は大変意義深いものと思っている。その中で、これまで取材を行ってきたぴぴっと研究会の活動について振り返りながら、さらなる活躍に向けてエールを送りたい。

新聞を読んで今を語る会（まうすりい）

私が初めて「ぴぴっと」に触れたのが、この「まうすりい」。月1回、会員たちが1カ月間に発生したニュースを基に、新聞がどのように伝えたか、各紙によって伝え方がどのように違っていたか、などについて、意見を交わすものだが、実際に記事を書いている我々にとっては、記事に触れた読者の心情に接する機会となる。そのため取材の際には「記事の真意は伝えられたのだろうか」などという思いが駆け巡り、正直「怖い」会合でもある。

事実、15年末に「まうすりい」を訪れた際、会員たちの話題に上ったのが、ある事件での被害者への取材の姿勢について。岩手で発生したものではなかったが、会員からは「被害者の気持ちを考えた取材だったのだろうか」「被害者がかわいそう」などという声。私は、自分が経験した過去の事件を思い出し、「本当にあの取材のやり方で正しかったのだろうか」などと思い返した。会員たちの声が、自らに問いかけられているようで、苦笑いを浮かべるしかなかった。新聞人としての仕事の大切さに改めて気付かされるとともに、自らを律する機会にもなり、感謝したい。

小笠原会長などはこの会について「茶飲み話」と語っているが、ただ終わらせるのではもったいないようにも思う。ここでの意見を、我々のような立場の者に伝えてもらうことも、「新聞」の将来のためになってくるのではないだろうか。

P T A会報の向上を目指す活動

ぴぴっと研究会は、北上市内の小中学校でのP T A会報のレベルアップを目指した活動も展開している。生涯学習センターで会報担当者を対象とした講座の講師として招かれた小笠原会長は「行事を伝えるだけでなく、自分たちのメッセージを訴えるように」とP T A会報の在り方について説いた。会報を

担当する保護者たちは、仕事をしながらの活動になり、「厳しい言い方だ」とも思ったが、自らも広報を発行する立場の意見として、実感がこもっている言葉として受け止めた。

「ぴぴっと」は主に児童生徒を対象にしているが、このような活動は大人たちにも新聞への理解を深めてもらうために、大変貴重なものとなっている。小笠原会長は「コンクールを開催したい」と夢を語っていたが、それによって会報のレベルアップにつながるのであれば、応援したい。「賞」を意識するのではなく、純粹に「書く喜び」「作る喜び」に触れる機会を増やしてほしい。

子どもぴぴっとクラブ

14年から始めた「子どもぴぴっとクラブ」は、ぴぴっと研究会の活動の「柱」となっているのではないだろうか。新聞を教育に取り入れるというNIEを、まさに実践する活動となっている。私は開始以来、ほぼ毎回顔を出し、活動の様子を紹介しているが、子供たちの新聞に対する感想などについても触れることができる有意義な取材となる。

子供たちの声は、的を得ていることが多い。「この見出しの意味が分からない」「新聞は字が小さくて読みにくい」など、こちらとしても耳が痛くなることもあるが、子供たちが新聞に触れる機会が少ない中で、ゲームなどを通じて新聞を知ることができるこのクラブは、大変意義深いと思う。本来は、我々が率先してやらなければならないことを、民間団体の「ぴぴっと」が行っていることは、本当に心苦しいが、このような活動は子供たちの国語力向上のためにもぜひとも継続してほしい。

ただ、そろそろ「新聞を作る」という大命題に取り組んでほしいというのが本音でもある。これまでは「新聞を知る」という観点から、ゲームに時間を費やす機会が多かった。15年度は、受講者に感想を書いてもらって新聞形式にすることはあったが、本当の意味での新聞作りを見たい。子供たちが自分たちの経験、感想をつづるだけでなく、実際に外に出て、何かを取材する「記者体験」の風景を、私が取材してみたいというのが、私の願いでもある。

終わりに…

ぴぴっと研究会の活動は、今後さらに飛躍、発展し、各方面に広がっていくことだろう。「新聞を作る」「新聞を読む」ことの楽しさを、子供だけでなく、大人たちにも知ってもらうために、小笠原会長をはじめ会員の皆さんのさらなる活躍に期待を寄せたい。その活動については、私も取材という形ではあるが、微力ながら応援していきたいと思っている。



はじめに P 3

子どものメディア・リテラシーを育てる「子どもぴぴっとクラブ」

ぴぴっと(PPT)研究会 会長 小笠原 味佐枝

寄稿 発刊によせて

「N I Eに新たな風を」 P 4

全国新聞教育研究協議会 会長 吉 成 勝 好

取材を通して見る「ぴぴっと研究会」 P 6

岩手日日新聞社北上支社 報道部記者 北 村 亮

子どもぴぴっとクラブって？ P11

さあやってみよう…実践ぴぴっと P15

- 1 これはどこだ P16
- 2 写真とおはなし P20
- 3 見出しってなあに P24
- 4 切ってみよう・貼ってみよう P28
- 5 カタカナをさがそう P32
- 6 日本探検 P36
- 7 ぴぴっとビンゴ P40
- 8 ぴぴっとパズル P44
- 9 作文ゲーム P48
- 10 新聞を読もう P52
- 11 新聞であそぼう P60

おわりに P69

新聞まめちしき その1

日刊紙の誕生

明治3年12月8日（西暦1871年1月28日）わが国初の日刊紙が横浜市にあらわれました。西洋紙1枚刷で鉛活字を用いた「横浜毎日新聞」こそ名実ともにわが国近代新聞の祖といっ
てよいでしょう。（昭和15年11月30日廃刊）この新聞は、時の神奈川県知事井関盛良のすすめ
で、島田豊寛・子安峻らが発刊したものです。以後、地方の中心地にぼつぼつ新聞があらわれ
ました。

明治5年は、「政治革命」と言われている年ですが、社会的に見ると「コミュニケーション
革命」と言う見方も成り立ちます。それは、全国郵便制度の完成、新橋・横浜間の鉄道の開通、
有力新聞の輩出があったという点からも言えると思います。

明治5年の日刊紙の発刊の状況

- | | | |
|----|----------|---------------------------------|
| 2月 | 「日新真事誌」 | （8年12月廃刊） |
| | 「東京日日新聞」 | （東京最初の日刊紙で現在の毎日新聞の祖） |
| 6月 | 「郵便報知新聞」 | （郵便制度の活用を図るために発行明治27年「報知新聞」と改題） |
| 7月 | 「峡中新聞」 | （甲府で発刊され現在の「山梨日日新聞」の祖） |
- （太陽コレクション かわら版新聞より）



子どもびびっとクラフって？

子どもびびっとクラブって？



目的

小学生の子どもたちを対象に、遊びを通して新聞に親しみ、表現力や国語力を自然に身につけてもらおうと、びびっと研究会が主催している会です。

発会

平成14年6月

内容

具体的にこれまでに行ったものの中からいくつかを紹介します。



お母さんと一緒に・・・
(実践びびっと1 これはどこだ)



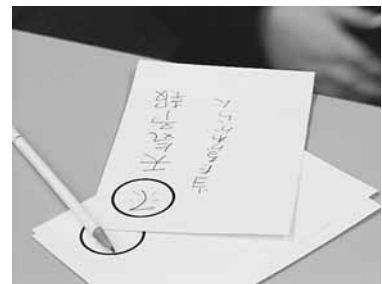
新聞からカタカナをさがしました
(実践びびっと5 カタカナをさがそう)



スタッフと一緒に頭をひねります
(実践びびっと3 見出してなかに)



漢字と格闘しています
(実践びびっと5
カタカナをさがそうのバリエーション)

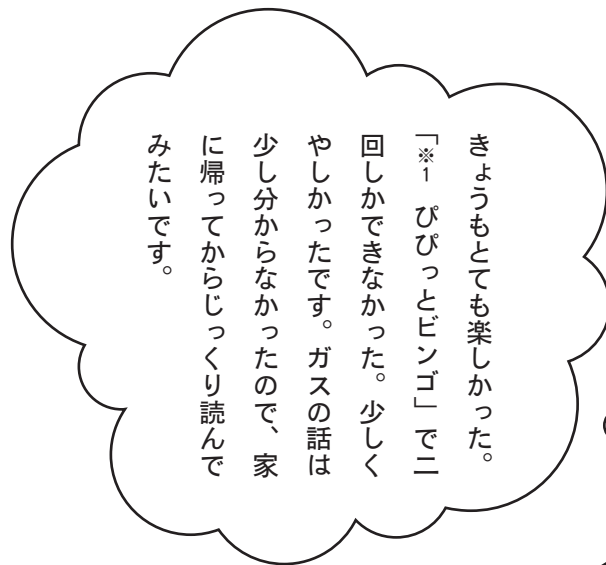


新聞を使ってカルタをつくりました
(実践びびっとには載っていません)

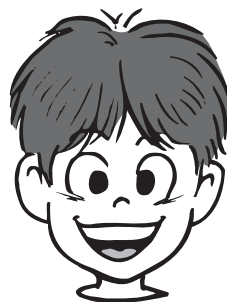
参加した子どもたちの感想は・・・



「※² これはどこだゲーム」
は勝ってやると思い新聞に目を
通した。でも一回目は苦戦。全
部とけないうちに終わった。二
回目はチームプレイ。ああだ、
こっだといいながら全部問題を
とけたときはうれしかった。



きょうもとても楽しかった。
「※¹ びびっとゴング」で二
回しかできなかった。少しく
やしかったです。ガスの話は
少し分からなかったので、家
に帰ってからじっくり読んで
みたいです。



きょうびびっとに来たのは初め
てでした。どんなことをするの
かなあと思っていました。一番
楽しかったことは「※² これ
はどこだゲーム」です。探して
いるうちに、誰よりも速く探し
たいなあと思いました。

※¹ 実践びびっと7

※² 実践びびっと1

このような感想を参考に

- ・ むずかしいことをやさしく
- ・ やさしいことを深く
- ・ 深いことをおもしろく

この三つを基本にすえて内容を
検討しています。

新聞まめちしき その2

明治初期の新聞の回し読み 銘酒店で？

現在の情報化社会における新聞の果たす役割は大きく、ほとんどの家庭で、新聞を購読しているといえる。また、会社やホテル等では何種類かの新聞を縦覧できる状況にある。いわゆる「新聞の回し読み」ができる。

平井隆太郎氏は、明治初期の新聞の回し読みについて次のように記している。

明治初期の新聞は、現在に比べて比較的高価であった。したがって、一枚の新聞はいくらかでまわし読みするのが普通であり、各所の新聞縦覧所は大いに繁昌した。

新聞縦覧所の始まりとしては、明治5年9月付けの「郵便報知新聞」第16号が報ずる横浜の無料縦覧所が早い頃のものであり、この頃から郡部を問わず有料あるいは無料の新聞縦覧所が設けられ、一種の流行となっていった。

石井耕堂氏の「明治事物起源」によれば、明治30年ごろから浅草の銘酒屋が縦覧所の看板を掲げるようになったということである。

(太陽コレクション かわら版新聞より)



さあやってみよう



実践ぴぴっと

これはどこだ

ねらい

・写真や記事を探しながら、
新聞用語や要素を覚え、新聞
に親しむことができる。

これはどこだ とは

あらかじめ配られた新聞の見出しやイラスト・写真・四コマまんが・広告などが、新聞の何面に載っているかを探し出すゲームのことです。

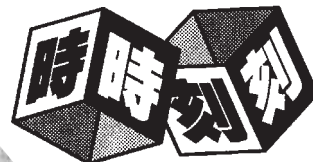


1. 準備

- ① 同じ日付の新聞
- ② サインペンまたは蛍光ペン
- ③ 問題（解答）用紙

問題（解答）用紙の作り方

- 新聞から見出しやイラスト・写真・4コマまんが・広告などの要素やその一部を選んで切り取り、ランダムに台紙に貼り付けて、その側に答えを書く欄（ ）を設けます。
- 問題用紙は、難易度をかえたものをいくつか用意しておきます。



() めん

青鉛筆

() めん

() めん

2. 進め方

- ① はじめに、新聞には1面・2面・・・と、紙面には独自の数え方があることを説明します。
- ② 次に、新聞の要素（見出し・イラスト・写真・4コマまんが・広告・記事・罫線など）の説明をします。
- ③ いよいよゲームの開始です。
問題用紙の要素と同じものを新聞から探します。
見つけたら新聞にペンで印をつけ、問題（解答）用紙の（ ）に要素のあった面の数字を書き入れます。
- ④ 最後にみんなで答えあわせをします。

1面・2面と数えます。



ステップ1

写真やイラスト・広告、四コマまんがなど、大きく目に付きやすいものから始めます。

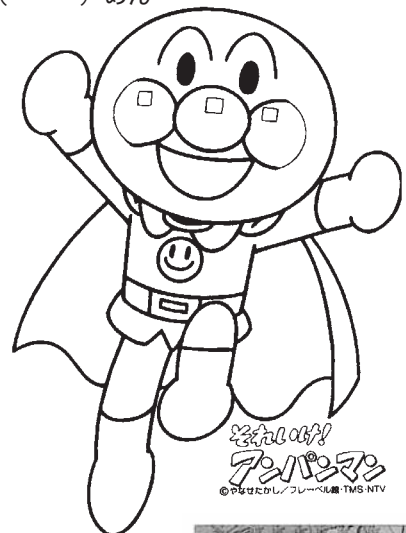


() めん

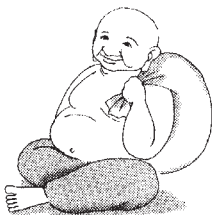


() めん

() めん



おれんじおれんじ
おんぱんまん
© 1988 藤子プロダクション TMS NTV



() めん



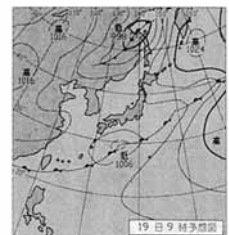
() めん



() めん




() めん




() めん

ステップ2

大きな見出しや野線、やや小さ目のイラスト・写真などで問題を作ります。大きな写真やイラストの一部を切り取っても良いでしょう。

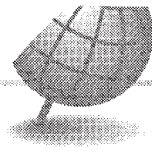


() めん



ニッコクを伝授
100円
75分・110分

() めん



球儀

() めん

【東京部相場】 17日・11日

◇は前日相場込み ◆は後日相場

◇野篁 もちあし (心算日・東一・東)

総入荷 1571 高銀 年毎


大 野	(千葉)10	1690	170
大 野	(千葉)11	1690	170
大 野	(千葉)12	1575	155
大 野	(千葉)13	1575	155
大 野	(千葉)14	1575	155
大 野	(千葉)15	1575	155
大 野	(千葉)16	1575	155
大 野	(千葉)17	1575	155
大 野	(千葉)18	1575	155
大 野	(千葉)19	1575	155
大 野	(千葉)20	1575	155
大 野	(千葉)21	1575	155
大 野	(千葉)22	1575	155
大 野	(千葉)23	1575	155
大 野	(千葉)24	1575	155
大 野	(千葉)25	1575	155
大 野	(千葉)26	1575	155
大 野	(千葉)27	1575	155
大 野	(千葉)28	1575	155
大 野	(千葉)29	1575	155
大 野	(千葉)30	1575	155
大 野	(千葉)31	1575	155
大 野	(千葉)32	1575	155
大 野	(千葉)33	1575	155
大 野	(千葉)34	1575	155
大 野	(千葉)35	1575	155
大 野	(千葉)36	1575	155
大 野	(千葉)37	1575	155
大 野	(千葉)38	1575	155
大 野	(千葉)39	1575	155
大 野	(千葉)40	1575	155
大 野	(千葉)41	1575	155
大 野	(千葉)42	1575	155
大 野	(千葉)43	1575	155
大 野	(千葉)44	1575	155
大 野	(千葉)45	1575	155
大 野	(千葉)46	1575	155
大 野	(千葉)47	1575	155
大 野	(千葉)48	1575	155
大 野	(千葉)49	1575	155
大 野	(千葉)50	1575	155
大 野	(千葉)51	1575	155
大 野	(千葉)52	1575	155
大 野	(千葉)53	1575	155
大 野	(千葉)54	1575	155
大 野	(千葉)55	1575	155
大 野	(千葉)56	1575	155
大 野	(千葉)57	1575	155
大 野	(千葉)58	1575	155
大 野	(千葉)59	1575	155
大 野	(千葉)60	1575	155
大 野	(千葉)61	1575	155
大 野	(千葉)62	1575	155
大 野	(千葉)63	1575	155
大 野	(千葉)64	1575	155
大 野	(千葉)65	1575	155
大 野	(千葉)66	1575	155
大 野	(千葉)67	1575	155
大 野	(千葉)68	1575	155
大 野	(千葉)69	1575	155
大 野	(千葉)70	1575	155
大 野	(千葉)71	1575	155
大 野	(千葉)72	1575	155
大 野	(千葉)73	1575	155
大 野	(千葉)74	1575	155
大 野	(千葉)75	1575	155
大 野	(千葉)76	1575	155
大 野	(千葉)77	1575	155
大 野	(千葉)78	1575	155
大 野	(千葉)79	1575	155
大 野	(千葉)80	1575	155
大 野	(千葉)81	1575	155
大 野	(千葉)82	1575	155
大 野	(千葉)83	1575	155
大 野	(千葉)84	1575	155
大 野	(千葉)85	1575	155
大 野	(千葉)86	1575	155
大 野	(千葉)87	1575	155
大 野	(千葉)88	1575	155
大 野	(千葉)89	1575	155
大 野	(千葉)90	1575	155
大 野	(千葉)91	1575	155
大 野	(千葉)92	1575	155
大 野	(千葉)93	1575	155
大 野	(千葉)94	1575	155
大 野	(千葉)95	1575	155
大 野	(千葉)96	1575	155
大 野	(千葉)97	1575	155
大 野	(千葉)98	1575	155
大 野	(千葉)99	1575	155
大 野	(千葉)100	1575	155

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

() めん


無料
トライアル
実施中!

() めん



対決は
DUPは
入るは
入るは
入るは


() めん



てい
めい

() めん

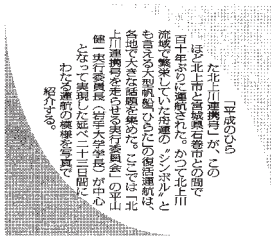
よく考えよう () めん



() めん

ステップ3


小さな見出しやイラスト・細かい野線など、さらに集中力を必要とするものを出題して難易度を上げてみましょう。




() めん

知は、現場にある。

() めん



() めん



() めん

★6月 運氣上昇。大きな仕事や、むずかしい交渉ごとは午後から処理せよ。

() めん

スポーツ

() めん

キーワード

() めん

棋信

() めん

社団法人日本
広報協会主催の十五年誌
広報コンクール、藤沢町の五
報(じ)が広報の町村(部)八
二万入以上で二階入った。愛蔵広報は
「『普通』に『普通』は『普通』」と題し
た大の特集盛り込んだ。日本一
となった十四年の組立書、広報入賞
とされた。藤沢町の町村(部)八
藤沢さん(じ)に愛蔵の感想や広
報存続に懸ける思いなどを
聞いた。

() めん

3. あれこれアドバイス

- 問題作成にあたっては各面からバランスよく要素をピックアップして、子どもたちがすべての面をみるように出題します。
- 出題する要素（見出し・イラスト・写真・広告・記事・罫線など）の大きさを変えるとにより、子どもの年齢や発達に応じた内容のゲームとなります。
- 要素を縮小コピーして出題することにより、ステップアップすることができます。
- 慣れてきたら問題数を増やしてみましょう。
- また、時間制限を設けて実施してみるのもよいでしょう。

専業主婦世帯の夫婦間の年金分割案

項目	夫取	妻取	夫婦合計
現行	15.1	6.6	21.8
行	10.5	6.6	17.1
分割案	10.9	10.9	21.8

(四捨五入の關係で合計は合わないところがある。単位は万円)

() めん

() めん

大手銀行グループの中核的の自己資本

銀行	公的資金	繰り延べ税金資産
三井住友	0.5	1.5
三井住友	0.5	1.5
三井住友	0.5	1.5
三井住友	0.5	1.5
三井住友	0.5	1.5

(2002年9月期。連結ベース。メリルリンチ日本証券調べ)

() めん

県立首・ろう・養護学校高等部卒業生の就職者・就職率の推移

年度	就職者 (人)	就職率 (%)
1998	22.1	25
99	29.4	30
2000	25.0	34
01	21.9	30
02	18.4	29

(113人) (102人) (136人) (137人) (158人)

() めん

体内埋め込み型補助人工心臓の仕組み

体外: 電気線とポンプの通気管, バッテリー, 小型制御装置とバッテリー, バッテリー

体内: 人工血管, 全身へ血液を送出, 人工血管, 心臓から血液が流入, 血液ポンプ, 本体

() めん

げんらん豪華な歴史絵巻

「前」のすすめ () めん

() めん

村の本パンゴン教室

ニュースファイル () めん

() めん

セントラルリーグ

() めん

動物からうつる病気

() めん

銀座会ワクワク情報

() めん

投資投資

NTT, トヨタ自動車, 日立製作所, 中部電力, KDDI, 東芝, 松下電器産業, 東京電力, NTT東日本, 大和証券グループ本社, 日本航空, 全日本空輸, 住友商事, 東京ガス, シャープ, サントリー

() めん

写真とおはなし

ねらい

- 写真を見て共感したことを自分の言葉で表現することができる。
- 紙面における写真の役割に気づく。

写真とおはなし とは

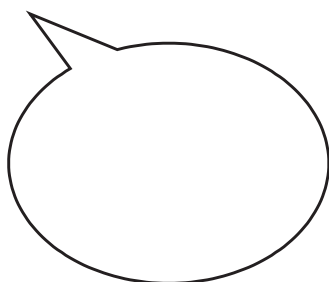
新聞の写真を見たときに自然と心の中でつぶやいている言葉を、吹き出しに書いてみようという活動です。気に入った写真に自由に語りかけます。



子どもの作品例

1. 準備

- ① 新聞
- ② 台紙
- ③ 吹き出しの形に切り取った紙
- ④ 鉛筆・消しゴム
- ⑤ はさみ
- ⑥ のり



指導者はあらかじめ作品例を準備しておきます。

その他、例示用に印象的な写真・衝撃的な写真などを準備しておきます。

2. 進め方

インパクトのある写真を例にあげ、新聞の中の写真の役割について気づかせます。



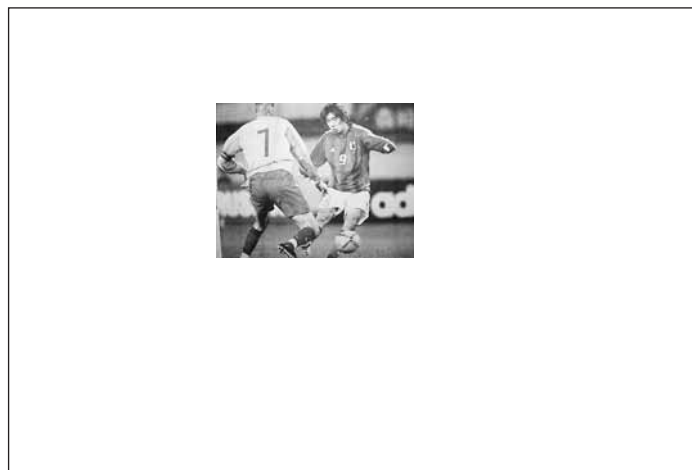
読売新聞2004. 2. 12付より



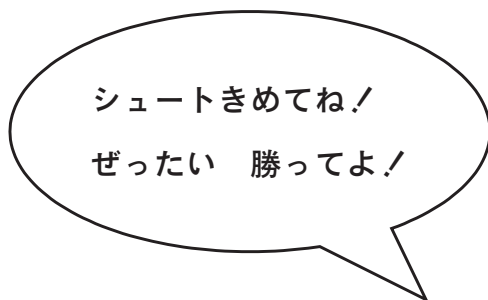
事前に準備しておいた作品例を見せ、今からの活動でどんなことをするのかイメージをつかませます。



『新聞の中から好きな写真を選び、切り抜いて台紙に張りましょう。』



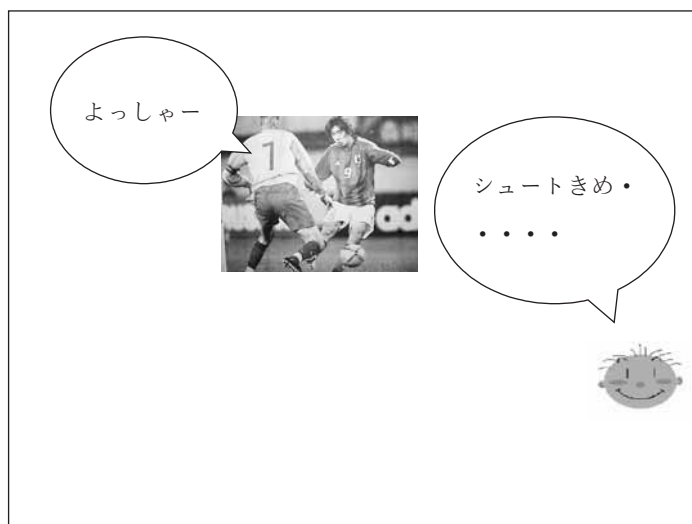
『選んだ写真の中の人や動物にあなたなら何て話しかけてあげますか。吹き出しに書きましょう。』



『吹き出しに書いたら、台紙の写真のそばに自分の顔を描いて吹き出しを貼り付けましょう。』



『今度は、写真の中の人や動物になりきって、お返事を書きましょう。』

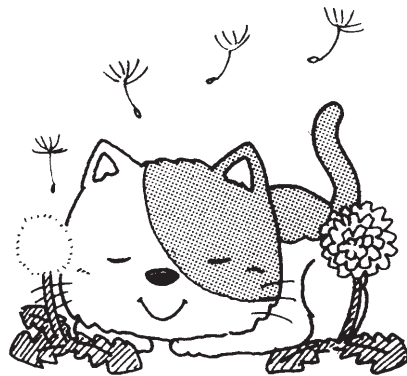




お互いの作品を見合い、いろいろな写真、いろいろな感想があることを知らせて終わります。

3. あれこれアドバイス

- 以上の例とは逆に、写真の中の人物や物になりきって話をさせることから始めることもできます。
- 高学年では、写真に自分なりの説明をつけるという活動もできます。
- 作業の早い子には何枚でも挑戦させられるよう、吹き出しの紙は多めに用意しましょう。
- 作業の遅い子どもには、あせらせずじっくり時間をかけて一つの作品を仕上げるよう声をかけてあげましょう。
- 子どもの自由な発想に任せ、人や動物だけに限らずいろいろな写真に語りかけさせましょう。



見出しってなあに

ねらい

・新聞の見出しの持つ役割や新聞の構成などについて知ることができる。

見出しってなあに とは

ばらばらに提示された複数の「見出し」と「写真記事」から、同じ記事どうしのペアを組み合わせていくゲームです。ゲームをとおして、見出しや写真の役割について考えていきます。



1. 準備

- ① 同一日付の新聞
- ② 赤ペン・蛍光ペンなど、目立つ色のペン
- ③ 新聞からいろいろな見出しを選んで載せた問題用紙
- ④ 見出しと同一の写真を載せた問題用紙

問題用紙の作り方

- (1) 新聞の中から見出しと写真のある記事を選び、見出しと写真を切り離して、それぞれ見出し用・写真用の台紙にランダムに貼り付けます。
- (2) 貼り付けた見出しには番号を、写真にはアルファベットをそれぞれ付けておきます。
- (3) それをコピーして問題用紙とします。

園児の鬼剣舞に拍手

北上・駅前にぎわいフェア
市内サークルの作品展示も

児童の安全願い街頭指導

—黒沢尻西小PTAと北上信金—

自分だけの「夢灯り」
親子で制作に励む
— 関

— 関地方小学校陸上
24種目で700人競う



2. 進め方

- ① まず、新聞にはどんな欄があるか（テレビ欄・スポーツ欄・社会面…）を、簡単に説明します。
- ② また、新聞のページの数え方（1面・2面…）についても説明します。
- ③ 問題用紙を配って、ゲームをはじめます。
子どもたちは、問題用紙にある見出しとどの写真がペアになるか考えて、写真用紙のアルファベットの横にあてはまる見出しの番号を記入します。
- ④ 全員の記入が終わったら新聞を開いて、どの面にあった記事から取った問題かを探し、マーカーなどで印をつけます。
- ⑤ みんなで答えあわせをします。
- ⑥ 最後に、見出しと写真の役割について話し合ってみましょう。

見出しって・・・？

記事の内容を短い言葉で分かりやすく表現したもので、いわばキャッチコピーのようなものです。

また、読む人の関心を引くことができます。

写真の役割は・・・？

記事の内容や様子を一目でわかるようにすることができます。

また、読む人の関心を引くことができます。

3. あれこれアドバイス

- 出題問題として取り上げる新聞記事は、できるだけ子どもたちの興味関心のあるものを選ぶとよいでしょう。

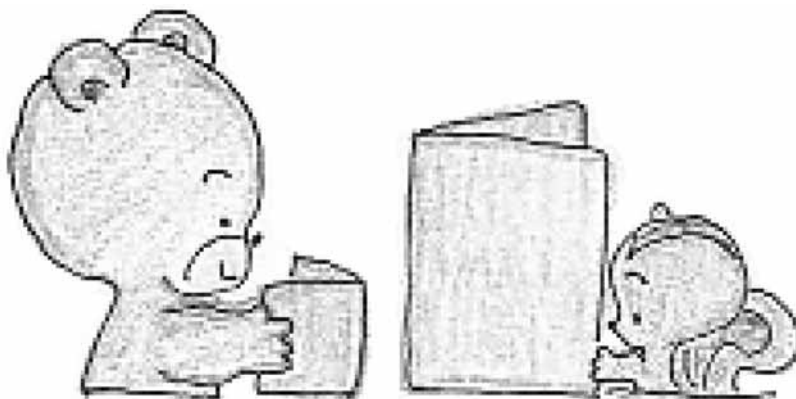
(取り上げる新聞も、一般紙だけではなく子ども新聞の活用も効果的です。)

- 学年の差が大きい場合は、興味や関心や理解の度合いに合わせて、グループに分けて活動してもよいでしょう。

- 子どもたちの状況や時間などによってさらに追加出題できるよう、問題は多めに用意しておくともよいでしょう。

- また、ある程度時間制限を設けて実施するのもよいでしょう。

- 「新聞の面」について最初に説明しておく、さらに新聞記事を調べたり活用する場合も理解しやすいようです。



切ってみよう・貼ってみよう

ねらい

・新聞の構成要素を考えながら、スクラップの楽しさに気づく。

切ってみよう・貼ってみようとは

『初歩的な新聞スクラップ』のことで、分け方・つくり方によって、いろいろな遊び方ができます。また、その過程の中で、新聞の構成や割付などに触れていきます。



1. 準備

- ① 新聞紙
- ② 台紙
- ③ はさみ
- ④ のり
- ⑤ 例示用スクラップ

例示用スクラップの作り方

見出し・写真・イラスト・罫線など、テーマごとに新聞から切り離して集め、それを提示しやすいように台紙に貼ります。

初歩的なスクラップということで、まずは視覚的な題材を取り上げて例示する方がよいようです。

変わらぬ闘志で、名勝負

早寝早起きの大切さ

武家屋敷の面影 後世に

追加緩和策検討へ

岩日 文芸

糖尿 病

今年も来月
10日に開店

赤淵さん

安全、安心な野菜作りに一歩

昔思い出し感慨深げ

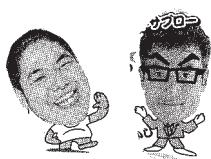
平泉の文化遺産イメージ

随想

化けしよおんたら
心を羅

樋口憲子

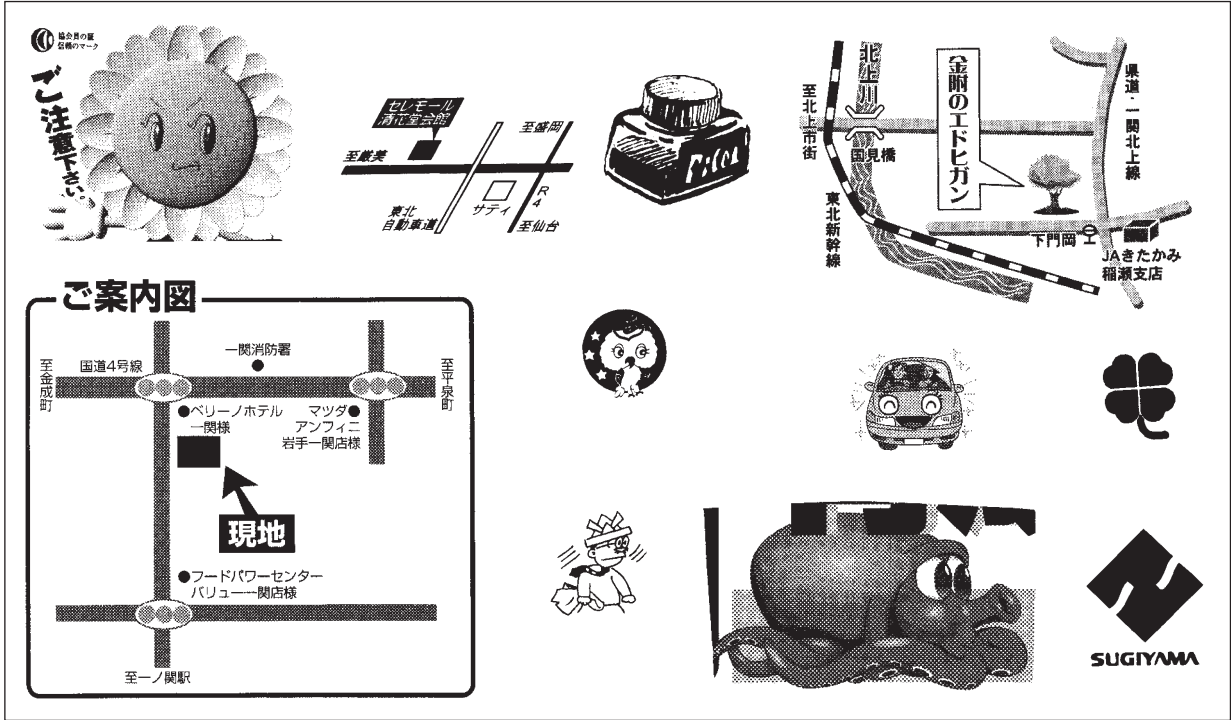
支度部屋



2. 進め方

- ① 実際に新聞を見ながら、「見出し」「写真」「表」「イラスト」「本文」などの構成要素について簡単な説明します。
- ② 用意していた例示用のスクラップを掲示して、テーマごとにつくるスクラップについて説明します。
- ③ なにを集めて新聞スクラップをつくるか、各自で自由に決めます。
- ④ 決めたテーマにそって、「見出し」や「写真」などを紙面から切り離し、集めていきます。
- ⑤ 集めた題材を台紙に貼っていきます。
- ⑥ 作品ができたら、お互いに見せ合ってみましょう。

「新聞にはどんなものが載っているかな?」といった質問をしてみると、子どもたちは「写真」「文字」「絵」など、いろいろな構成要素を挙げてきます。

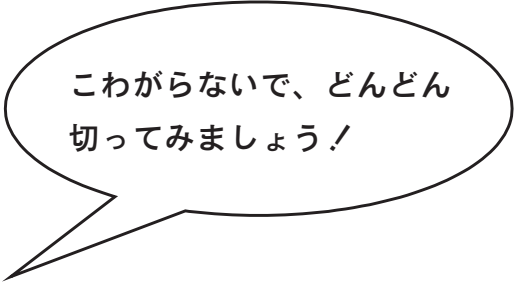


3. あれこれアドバイス

- スクラップの題材は、最初の段階では「写真」や「見出し」・「グラフ」といった視覚的なものを取り上げた方がよいようです。

(視覚的な題材は、子どもたちにとって、分かりやすい・探しやすい・切りやすい・貼りやすいなどの利点があります。)

- 題材を切り取る場合には、最初からきちと切るのではなく、まず題材よりも大きめに余裕をもって紙面から切り離し、それからまわりを切り取る方がきれいに仕上がるようです。



こわがらないで、どんどん切ってみましょう!

- 本来新聞スクラップをつくる場合には、資料的観点からいって、「いつ」の「何新聞」から切った題材であるかを必ず記入することが大事になります。
- また、写真をスクラップする場合は、写真の付記もいっしょに切り取るようにしましょう。
- 今回のように一日分の新聞からスクラップをつくるだけでなく、テーマをもって長期的に題材を集めてスクラップしたり、集める対象を一紙ではなく多紙から取るといった方法もあります。
- スクラップはテーマの持ち方やその方法によって、そのバリエーションが広がり、いろいろな楽しみ方ができます。そしてなにより身近な資料収集のひとつでもありますから、スクラップするだけでなく、それを活用することでさらに楽しさが広がっていくと思います。

カタカナをさがそう

ねらい

- ・新聞の文字などに着目しながら、新聞に親しむ。

カタカナをさがそう とは

紙面からカタカナをさがすゲームです。子どもの発達段階によってカタカナ・漢字・アルファベット・数字・イラスト・・・と、様々なバリエーションが考えられるあそびです。



1. 準備

- ① 同一日付の新聞・・・子どもの人数分
- ② 赤ペン・蛍光ペンなど、目立つ色のペン

事前にしておくこと

- ・使用する新聞の紙面を選びます。
- ・さがすもの（カタカナ・漢字など）を何にするか決めます。
- ・さがすものが、どこに何個あるかを把握しておきます。

ワンポイントアドバイス

さがすものによっては、限られた記事だけなど、さがす範囲が広くなりすぎないように配慮が必要です。あまり範囲が広いと、子どもの集中力が持続しないでしょう。

2. 進め方

「どの紙面」から「何を」さがすのかをはっきり指示します。

ここではカタカナをさがすことにします。

『1面からカタカナで書かれた言葉だけをさがします。見つけたら赤ペンでしるしを付けましょう。』

ワンポイントアドバイス

低学年では一字一字拾い読みをする子どもも予想されるので、新聞全体に目を向けさせるようなアドバイスが必要になると思います。たとえば、姿勢をよくして見る、新聞から目を離して見るなど。

『5分間でできるだけたくさんさがしてください。はじめ。』

ワンポイントアドバイス

さがさせる時間は長くても10分。短時間で、集中してさがす楽しさを味わわせたいあそびです。

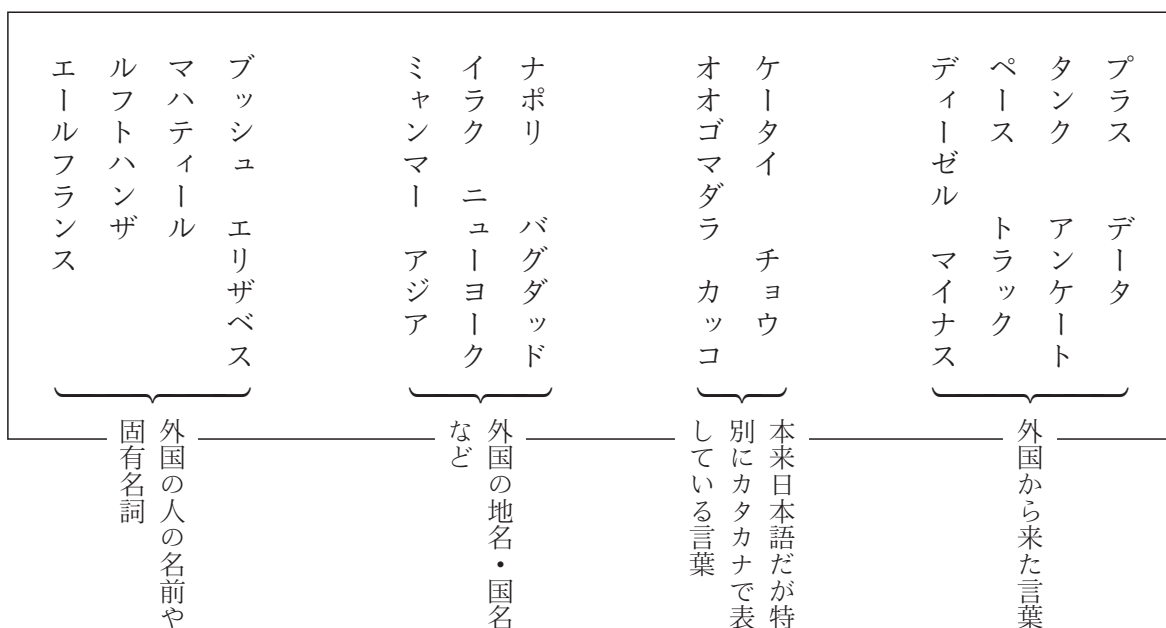
『やめ。発表してください。』

発表させるときに、あらかじめ紙板書を用意しておくとお手際よくできます。

指導者の意図に従って、発表したものを分類していきます。



《分類の例》



分類した理由を考えさせる

『なぜ、4種類に分けたのでしょうか。』



カタカナの使われ方についてまとめて終わります。

3. バリエーション

(その1 数字をさがそう)

指定した紙面にある数字をさがします。
見つけた数字を合計したらいくつになるか
全員で確かめます。

$$50 + 12000 + 16 + 82 + 3 + 5 + 7.2$$

$$+ 8570000 + 5.15 + \dots$$

(その2 人名をさがそう・日本人版)

指定した紙面にある人名をさがします。

初めて聞く苗字、珍しい苗字、読み方が
難しい苗字など、話をふくらませましょう。

テレビ欄からさがすのも、たのしいでしょう。

天 児 ・ ・	小 森 田	小 早 川	岩 井	福 田	小 倉	田 中
	乾	武 宮	安 藤	小 泉	国 広	山 内
	巽	大 竹		郡 司	山 澤	孔

(その3 人名をさがそう・外国人版)

外国人の名前をさがします。

一番短い名前、長い名前などさがすと盛り
上がります。

ア ー ル ツ エ ネ ッ ガ ー	ロ ー ラ	ソ ウ ス キ ー ・ ド ・	バ ル ダ ザ ー ル ・ ク ロ	マ ギ ー ・ ウ イ ル ダ ロ
-------------------------------------------	-------------	--------------------------------------	-------------------------------------------	-------------------------------------------

(その4 にんべんの漢字をさがそう)

指定した紙面にあるにんべんの漢字をさがしま
す。きへん・さんずい・しんにょう・くにがまえ・
うかんむり・・・等々、いろいろなへんやつくり
でやってみましょう。

僧 ・ ・ ・	伸	僅	住	任	低
	侵	信	偏	作	係

(その5 食べ物に関係のある言葉をさがそう)

子ども達の大好きな食べ物に関係のあることば
をさがします。

家庭欄などに限定せず、紙面全体からさがすこ
とにすると、予想外にいろいろな言葉が見つかる
かも知れません。

か し わ 飯 ・ ・ ・	ラ イ 麦	ビ ー ル	ポ ッ プ コ ー ン	い わ し	米
---------------------------------	-------------	-------------	----------------------------	-------------	---

日本探検

ねらい

・地理的な視点で新聞を読むことができる。

日本探検 とは

新聞記事を読み、発信場所（その記事に出てくる場所）がどこにあるのか地図を使って確認する活動です。



1. 準備

- ① 同じ日付の新聞
- ② 日本地図
- ③ 赤ペン・蛍光ペン・マーカーなど
- ④ シール

事前しておくこと

- 使用する新聞の紙面を選びます。
- 記事の発信地を把握しておきます。
- 白地図には、県名を入れておきます。



2. 進め方

指定された紙面の記事の中から、どこで起こった出来事なのか（発信場所）が書かれている箇所（県名などの地名）を探して、マーカーなどでしるしをつけます。



見つけた記事の地点が、日本のどの場所にあるのか地図で探します。



探した地点を見つけたら、その場所にシールを貼ります。同じ要領で見つけた数だけ次々貼っていきましょう。

ワンポイントアドバイス

シールでなく、地図（白）にペンで直接書き込んでもよいです。その場合は、「正」の文字をなど使ったりして記事の数がわかるようにしましょう。



最後に、みんなで答え合わせをします。

新聞から発信された地域は何県があるでしょう。

どの県にいくつの記事があったでしょう。

どこの県の記事が多いか、多い順にランキングしてみましょう。

3. バリエーション

条件となる地理的な範囲を変えることで、いろいろな楽しみ方ができます。

世界探検 とは

『日本探検』と同じ要領で、地理的な範囲を『世界』に広げて行うものです。

新聞は一般紙の国際面などを使います。



紙面の中から記事ごとに発信場所（国名・都市名など）を探し、しるしをつけます。



見つけた記事の地点を、世界地図で探します。



発信場所にシールを付けて行きます。



最後に、みんなで答え合わせをしましょう。



〇〇県探検 とは

『日本探検』と同じ要領で、自分たちの住んでいる県（都・道・府）について調べてみるものです。

新聞は地方紙・地域紙などを使います。



紙面の中から記事ごとに発信場所（市町村名など）を探し、しるしをつけます。



見つけた記事の地点を、県地図で探します。



発信場所にシールを付けて行きます。



最後に、みんなで答え合わせをしましょう。

4. あれこれアドバイス

- 地理的範囲をもっと狭めて、自分の住む市町村を対象として行うこともできます。その場合には、地域紙やタウン紙などの身近なものを使用するとよいでしょう。
- 発信場所を地図上で探す場合、地名の入らない「白地図」を使うと、より難しくなって上級編となります。
- また、地理的に捉える題材を、「記事」だけではなく新聞に載っているいろいろなものに広げてみるのも楽しいでしょう。
（例えば、テレビ欄・投書欄・広告・・・など）

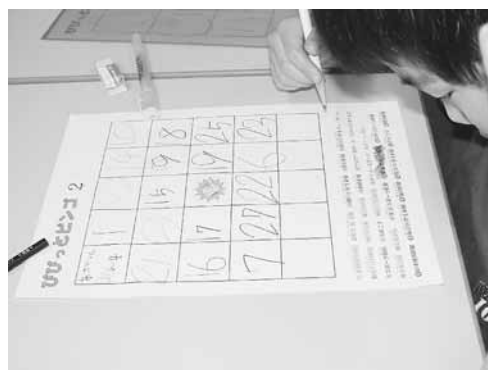
びびっとビンゴ

ねらい

- ・新聞の名前や新聞用語などに自然に触れ、親しむことができる。

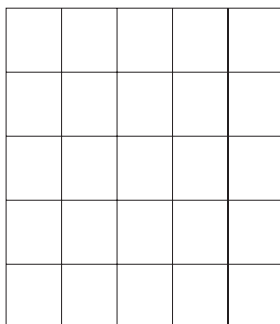
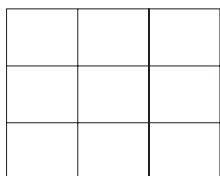
びびっとビンゴ とは

新聞に書いてある言葉や新聞用語などいろいろな要素を題材としてマスを埋め、ビンゴを完成させるゲームです。



1. 準備

- ① 9マスと25マスの用紙



- ② 鉛筆・消しゴム・マーカー
- ③ 新聞（同じものを人数分用意）
- ④ いろいろな新聞用語・新聞の名前（題号）を書いたプリント
- ⑤ クジ（題材ごとに言葉を1枚ずつ書いたもの）

2. 進め方

ウォーミングアップ編

まず、ビンゴ用紙をつくります。
 25マスの用紙に1～50までの数字の中から、好きなものを自由に記入して、すべてのマスをうめていきます。
 (同じ数字を2度使わないようにします。)

21	41	9	50	30
36	1	3	11	23
44	10	28	33	12
33	37	49	25	48
4	6	45	7	19



全員の記入が終わったら、ビンゴゲームを始めます。
 指導者が1から50の数字をランダムに挙げていきます。
 子どもたちは自分の用紙をチェックしながら、ビンゴを完成させていきます。

ホワイトボードに挙げられた数字を書くなどして、聞き落としがないようにするとよいでしょう。

新聞用語編

9マスの用紙を使用して、ビンゴ用紙をつくります。
 別紙プリントに書かれた新聞用語を各自好きなように選び、9マスに自由に記入します。
 (同じ用語を使わないこと、ひらがなでもOKとします。)

4コマ まんが	野線	広告
テレビ欄	天気図	写真
見出し	イラスト	グラフ



全員の記入確認後、用意した『クジ』を子どもたちに順番に1枚ずつひいてもらいます。



ひかれた『クジ』の内容を読み上げながら、順次ホワイトボードに記入していきます。子どもたちは自分の用紙をチェックして、ビンゴの完成をめざします。



最後に、それぞれの新聞用語について簡単な説明をします。

新聞の名前（題号）編

25マスの用紙を使用してビンゴ用紙をつくります。
(記入のしかたは、新聞用語編と同じです。)

毎日新聞			東奥日報	
				岩手日日
河北新聞		岩手日報		
	朝日新聞			
			東スポ	



全員の記入確認後、用意した『クジ』を子どもたちに順番に1枚ずつひいてもらいます。



ひかれた『クジ』の内容を読み上げながら、順次ホワイトボードに記入していきます。子どもたちは自分の用紙をチェックして、ビンゴの完成をめざします。



最後に、ビンゴで使ったいろいろな新聞の名前や種類などについて簡単な説明をします。

全国紙…朝日新聞・毎日新聞・読売新聞…
地方紙…岩手日報・東奥日報・東京新聞…
地域紙…岩手日日・盛岡タイムス…
経済紙…日本経済新聞…
業界紙…
スポーツ紙…サンケイスポーツ・東京スポーツ…
etc

カタカナ編

ビンゴのマスをうめるカタカナ言葉を選びます。
 同一の新聞の決められた面にあるカタカナ言葉を探し、マーカーでしるしをつけていきます。



25マスの用紙を使って、ビンゴ用紙をつくります。
 しるしをつけたカタカナ言葉の中から自由に25個を選んでマスに記入し、ビンゴ用紙を完成させます。

あらかじめ、使う面からカタカナ言葉を全て選び出して、『クジ』をつくっておきます。



全員の記入確認後、用意した『クジ』を子どもたちに順番に1枚ずつひいてもらいます。



ひかれた『クジ』の内容を読み上げながら、順次ホワイトボードに記入していきます。子どもたちは自分の用紙をチェックして、ビンゴの完成をめざします。

3. あれこれアドバイス

- あらかじめ準備しておくプリントの「新聞用語」や「新聞の名前」などには、必ず読み仮名をつけるようにしましょう。
- マスに言葉を記入してビンゴ用紙をつくっていく場合には、ある程度時間制限を設けた方がよいでしょう。
- 子どもたちの満足度を考えて、なるべく全員がビンゴになるまで続けた方がよいようです。
- その他、題材を工夫することで、いろいろな楽しみ方をすることができます。

びびっとパズル

ねらい

・新聞の構成・割付や文章の構成に気付くことができる。

びびっとパズル とは

『新聞の紙面を使った組み合わせパズル』のことで、使用する紙面の選び方や各ピースの分け方・つくり方によって、いろいろな遊び方ができます。また、その過程の中で、新聞の構成や割付などに触れていきます。



1. 準備

- ① 新聞紙
- ② 裏打ち用の紙
- ③ はさみ
- ④ のり
- ⑤ 重しにする本

びびっとパズルのつくり方

パズルにする新聞を選ぶ。



裏打ち用の厚紙に新聞を貼り付ける。



本などを使って、しわにならないよう
にプレスしながら乾燥させる。



記事と記事の境界線を赤ペンで引き、それをはさみで切り分けます。



完成です！

ワンポイントアドバイス

- 新聞は、一般紙だけではなく子ども新聞やスポーツ紙・タウン紙など色々なものを用意するとよいでしょう。
- 裏打ち用の紙は、なるべく厚手のものを使いましょう。

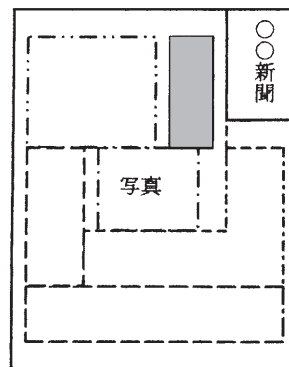
バリエーション

紙面の選択や切り方でいろいろなパズルができます。

〈割付タイプ〉

前ページ掲載のタイプで、各ピースを記事どおりの形で切り分けるもの。

新聞の割付・構成について知ることができます。

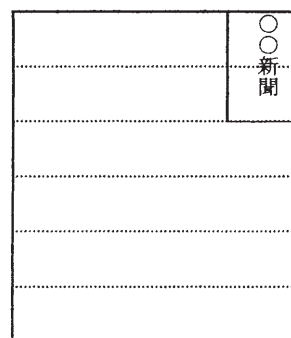


〈同形ピースタイプ〉

記事や写真などの構成に関係なく、パズルのピースを一定の形に切り分けていくもの。

記事の内容・文章のつながりなどについて知ることができます。

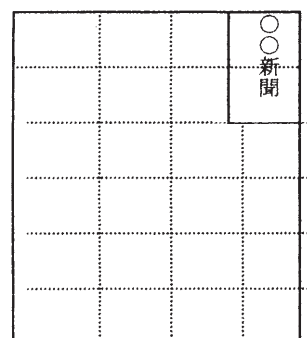
(初級：横段ピース)



(初級：横段ピース)…段ごとに切り分けるもの。

(上級：升目ピース)…全体を升目に切り分けるもの。

(上級：升目ピース)



〈まんがピースタイプ〉

子ども新聞などのまんがを場面ごとに切り分けるもの。

物語などの展開について考えていくことができます。

〈ランダムピースタイプ〉

記事の構成などに関係なく、全体をランダムに切り分けるもの。
割付や構成・記事の内容について考えていくことができます。

2. 進め方

ジグソーパズルの要領で、それぞれのピースを組み合わせて、パズルを完成させます。



ワンポイントアドバイス

- 時間制限を設けてもよいでしょう。
- また、パズルの組み立てをするだけでなく、各自で作成することで更に楽しむことができます。

3. あれこれアドバイス

- 使用する新聞は、いきなり一般紙では難しいので、小学生新聞や市町村の広報誌など、カラーページの紙面や写真の多い紙面を活用した方がよいでしょう。
- 紙面の選択や切り分け方・ピースの大きさなどによって、難易度をかえることができます。難易度で2～3段階にわけておくと、より難しいものへという挑戦意欲をもたせることができます。
- 低学年の子どもたちは、自分でつくるのは難しいので、つくったものであそぶことを中心にした方がよいでしょう。

作文ゲーム

ねらい

- ・新聞記事の大事な要素「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」「なぜ」(5W1H)を知る。

作文ゲーム とは

「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」という文章の基本的な構成要素を、ゲームをとおして楽しく学んでいく活動です。



1. 準備

- ① 記入用のカード
- ② 筆記用具
- ③ 赤ペン・蛍光ペン・目立つ色のペン
- ④ 同じ日付の新聞
- ⑤ 新聞記事のコピー
- ⑥ 5W1Hを書いたカード

だ
れ
が

ど
こ
で

い
つ

な
ぜ

ど
う
し
た

何
を

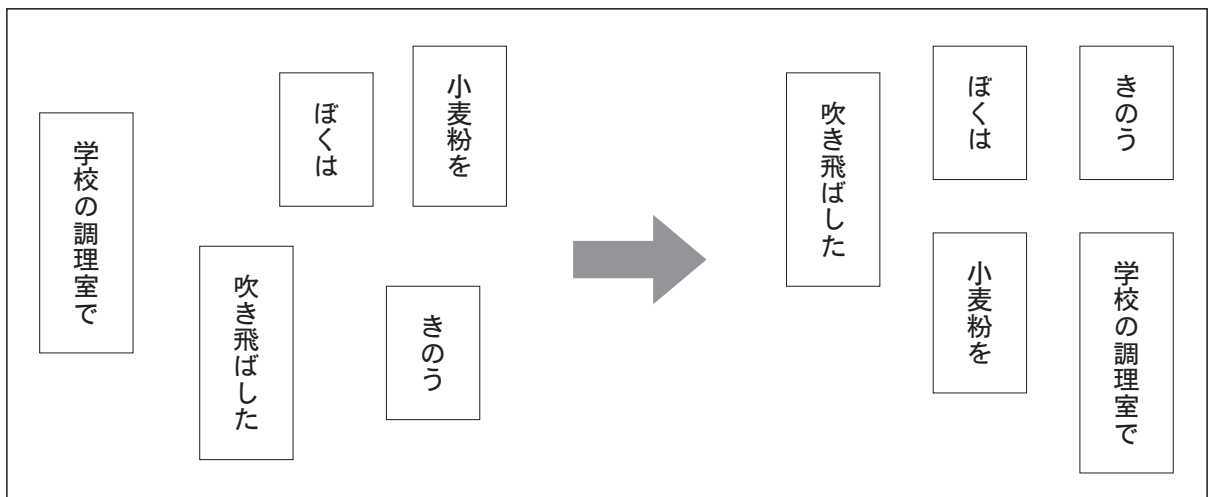
2. 進め方

- ① 5W1Hのカードを提示して、簡単に説明をします。
- ② コピーした新聞記事を使って、実際に文章の中から5W1Hを見つけ、カラーペンで印をつけます。

ワンポイントアドバイス

新聞記事は、子どもに関係のあるものや興味のもてるもの、そして5W1Hがわかりやすいものを与えるようにしましょう。

- ③ 5W1Hを把握したところで、次に、用意しておいた5W1Hのカードを使って、文章をつくってみましょう。



- ④ 「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」それぞれのカードに、各自が好きな言葉を自由に記入します。

さあ、実際に作文ゲームを始めましょう!!

⑤ 「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」それぞれに分けて、カードを集めておきます。

⑥ 集めたカードの中から「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」の順に1枚ずつ取って、一続きの文章として読み上げます。

⑦ とってもユニークで楽しい文章のできあがりです。

ワンポイントアドバイス

最初の読み上げは指導者がやってみせ、その後子どもたちにボタンタッチしてもよいでしょう。

3. バリエーション

文を構成する要素を増やしていくことで、より複雑な文章となり、一段とユニークなもののできあがります。ばらばらな言葉の組み合わせの妙で、思いもよらない文ができあがり、笑いをさそうこと請け合いです。

① 基本の「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」に次ぎのものを加えます。

おととい 屋根の上で おばあさんが にぎりめしを 投げた。

「だれと」

おととい屋根の上で おばあさんが**ブタと** にぎりめしを投げた。

「なぜ（どうして）」

おととい屋根の上で おばあさんがブタと **晴れたので** にぎりめしを投げた。

「どうなった」

おととい屋根の上で おばあさんがブタと 晴れたので にぎりめしを投げた。

とても楽しかった。

☆参考例 5月5日の子どもの日に、ターザンがお父さんとどぶに落ちた。なきたくなった。
3年前 山で、おじいさんが家族とごはんを食べた。もっと続けたいと思った。

- ② 「なにを」「どうした」の部分を、「なにをした」の一表現にするやり方もあります。

☆参考例

10月10日 校庭で、担任の先生がゴリラといねむりをした。とても楽しかった。

私の誕生日に海のそばで、妹がともだちと遊んだ。悔しかった。

日曜日にトイレで、お母さんがおまわりさんととびおりた。元気になった。

4. あれこれアドバイス

- ゲームの進め方はいろいろ考えられますが、低学年の場合は、はじめに言葉による作文ゲームをやってから新聞記事で説明した方が分かりやすいようです。
- 利用する新聞は、「子どもの興味・関心・わかりやすさ」という点から考えると、子ども新聞が有効的であるようです。また、地方紙も子どもの身近なニュース記事ということから、意欲的に取り組んでくれるようです。
- カードに言葉を記入する際、人数によってはあらかじめグループに分けておいて、グループごとに5W1Hを割り当てて実施してもよいでしょう。
- 参加者が協力しながらゲームとして言葉を組み合わせるため、思いがけない文章ができることが多いのですが、その中で不自然な組み合わせになってしまうこともあり、特に不適切な助詞などが出てくる場合もあります。そういう場合には自然な使い方のアドバイスをしてあげましょう。そうすることで、楽しみながら自然に文章の構成要素や流れ・表現を意識させることができます。

☆参考例

30年後、岩手山のとっぺんで、仙人が宇宙人と

逆立ちしたくて 巨大なクジラを 噛まれた。有名になった。

に

新聞を読もう

めあて

- さまざまな視点から新聞に親しみ読むことができる
- 情報活用能力を身につける

— 本や雑誌を読むことと新聞を読むことの違いは何だろう —

新聞を読もう とは

実際に紙面を読んでみることで、新聞のいろいろな特性に気づいていこうとするものです。

「新聞を読もう」については複数の活動を行いました。ここではその中から3つの実践について紹介します。

1. 新聞を開いてみよう

新聞を開いて、いろいろな紙面を実際に声を出して読んでみようという活動です。

準備

① 同じ日付の新聞

小学生新聞などが、読みやすく分かりやすいのでよいようです。

② 赤ペン・蛍光ペンなどの色のついたペン



進め方

① 「普段みなさんがよく見ているのは新聞のどんな部分ですか？」
 (新聞の紙面や欄について簡単な説明をしながらみんなで見っていきます。)

② 子どもたちが挙げた普段よく見ている部分について、
 マーカーなどでしるしをつけます。

③ 挙げられた記事やおもしろそうな記事を選んで声を出して読んでみます。

全員で、ひとりで、
 あるいは交代で読んでみましょう。

④ 読んだ記事について、みんなで自由に話し合います。

- ・テレビやラジオ欄
- ・四コママンガ
- ・ほしうらない
- ・天気予報
- ・スポーツ記事
- ・ニュース記事
- ・社説
- ・広告
- ・家庭らん
- ・料理メモ
- ・地方版
- ・その他

ワンポイントアドバイス

- 読んでみた記事の文章だけではなく、写真や見出しなどについても話し合ってみましょう。
 (低学年では、写真について話し合うことから入った方が、記事内容全体についての話し合いがうまく進むようです。)
- 記事の内容について、感想・意見を自由に出してもらい、できればそれぞれの意見等についてさらにお互いディスカッションしてみるとよいでしょう。
- 同じ記事を読み合い話し合うことで、一つのことについていろいろな思いや感じ方・考え方がわかることができます。
- 同じ内容の記事について、テレビや雑誌ではどんな風に取り上げられているのか、ということについてもふれてみるとよいと思います。
- 高学年では、5W1Hに気をつけながら読み解くことにも挑戦してみましょう。

2. マンガ家に挑戦

新聞に掲載されている『四コママンガ』をつかって、出来事のながれ・文章のながれを「起承転結」の観点から捉え、考えてみようとするものです。

準備

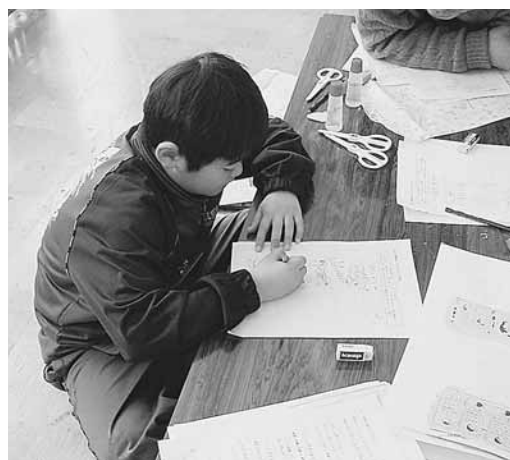
- ① 新聞
- ② えんぴつ・消しゴム
- ③ 赤ペン・蛍光ペンなどの色のついたペン
- ④ はさみ
- ⑤ のり
- ⑥ 四コママンガ用ワークシート（次ページ参照）

進め方

- ① 新聞の中から四コママンガを探して、蛍光ペンなどでしるしをつけます。
- ② 四コママンガを紙面から切り抜いて、ワークシートの所定の位置に貼ります。
- ③ その四コママンガをじっくり見てから、「起承転結」について簡単に説明します。
- ④ 「転」にあたる（C）の絵や言葉を別なものにかえて、四コママンガのながれやはなしを違ったものに変化させてみましょう。
- ⑤ （D）についても考えてかえてみましょう。
- ⑥ 最後にみんなで作品を見せ合ひましょう。

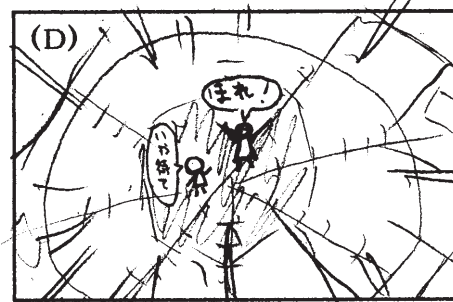
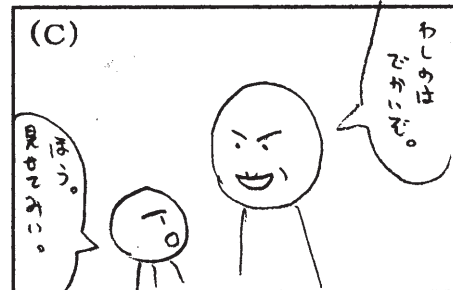
参 考（文章作成上の起承転結）

「起」で書き起こし、
「承」でそれを受けて論を展開し、
「転」で違う方向から切り込み、
「結」で結ぶ。



〈四コママンガ ワークシート〉

- 下のマンガをじっくり読み、(C) のところのことばや絵をかえてみましょう。
- (C) がおわったら (D) もかえてみましょう。



2004年(平成16年)3月23日(火)
朝日新聞

四コママンガには、主人公の性格や心のようにすがわかるだけでなく、その時々時代の背景や環境・社会事象なども具体的で説得力があるという特性があります。

3. 気象予報士になってみよう

新聞に掲載されている天気図や気温表などの気象情報をつかって、気象や天気について考えてみようという活動です。

準備

- ① 連続した何日分かの新聞
- ② えんぴつ・消しゴム
- ③ 赤ペン・蛍光ペンなどの色のついたペン
- ④ はさみ
- ⑤ のり
- ⑥ ワークシート

進め方

- ① 紙面の中から天気図などの気象情報を探します。
- ② 紙面から気象情報を見つけたら、マーカーなどでしるしをつけます。
- ③ しるしをつけた気象情報を紙面から切り抜きます。
- ④ ワークシートに貼っていきます。
- ⑤ ワークシートをつかって、天気図などからはどんな情報がわかるのか考えていきます。
- ⑥ 最後に、お互いに発表し合ひましょう。

天気図などから読み取れることを、ワークシートに記入してみましょう。

〈気象情報ワークシート〉

新聞に載っている気象情報を貼ろう

右の気象情報からどんなことが分かるだろう。読み取れることを書いてみよう。

天気

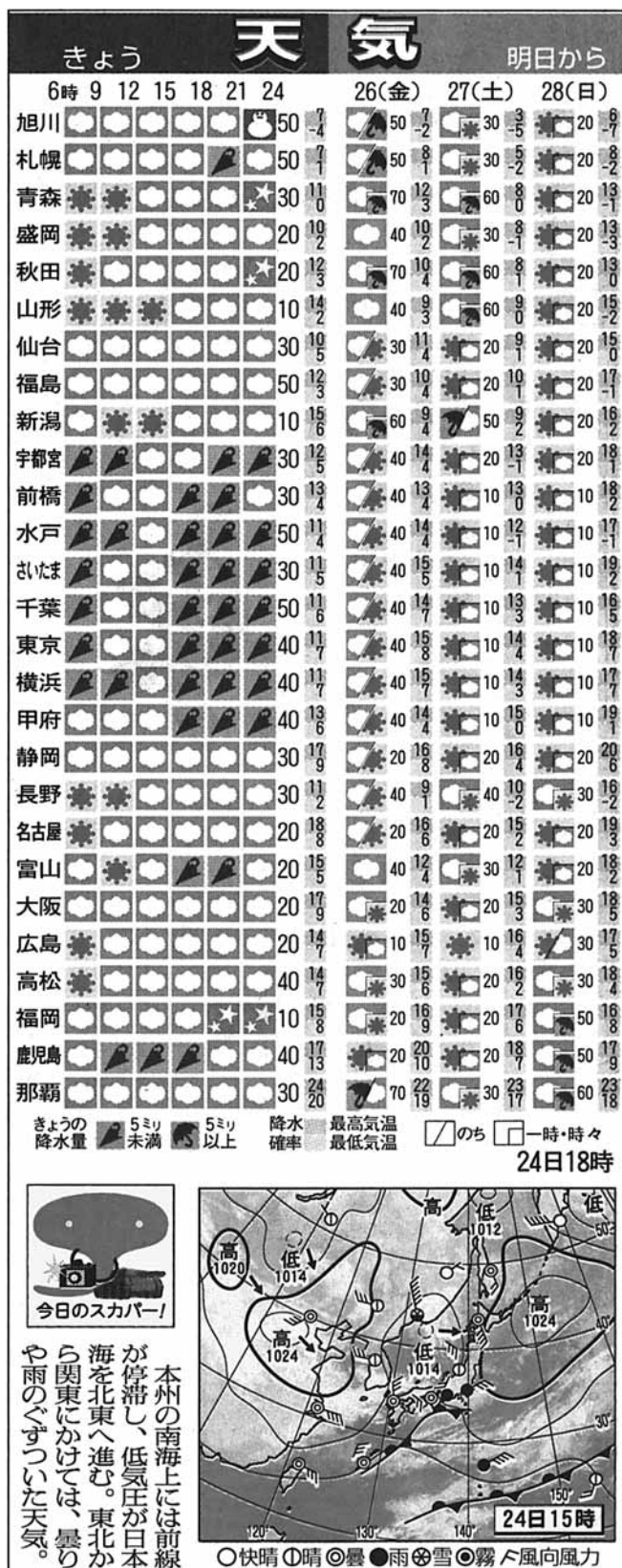
気温

風

降水確率

日の出・日の入り

その他



あれこれアドバイス

- 気象情報については、難しい用語もあるので、簡単な説明を加えるようにしましょう。
- 一日分の気象情報について考えてみたら、次は連続した数日分の気象情報について同様に行ってみましょう。天気推移を読み取ることができます。
- さらに連続してスクラップしてみると、長期的な移り変わりについて考えることができます。
- いろいろなワークシートのつかいかたをすることで、さらにバリエーションが広がっていきます。

きょうの降水確率 6-18時(%)	きょうの降水確率 6-18時(%)	きょうの降水確率 6-18時(%)	きょうの降水確率 6-18時(%)	きょうの降水確率 6-18時(%)	きょうの降水確率 6-18時(%)	きょうの降水確率 6-18時(%)	きょうの降水確率 6-18時(%)
内 降 20 沿岸北部 10 沿岸南部 0	内 降 30 沿岸北部 20 沿岸南部 0	内 降 10 沿岸北部 0 沿岸南部 0	内 降 10 沿岸北部 0 沿岸南部 0	内 降 10 沿岸北部 0 沿岸南部 0	内 降 0 沿岸北部 0 沿岸南部 0	内 降 20 沿岸北部 0 沿岸南部 0	内 降 50 沿岸北部 30 沿岸南部 0
気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 12、2	気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 15、7	気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 15、7	気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 15、7	気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 15、7	気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 15、7	気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 15、7	気温 15.5℃、あす15.5℃ 湿度 66%、あす66% 大船渡 15、7
宮古湾 14.3 40.1 釜石湾 15.3 40.1 門之浜湾 13.3 40.5 (右は平年比 △高▽低)	宮古湾 14.3 — 釜石湾 15.4 — 門之浜湾 13.7 40.8 (右は平年比 △高▽低)	宮古湾 14.4 — 釜石湾 15.4 — 門之浜湾 13.7 40.8 (右は平年比 △高▽低)	宮古湾 14.6 40.1 釜石湾 15.6 40.5 門之浜湾 13.1 40.2 (右は平年比 △高▽低)	宮古湾 14.5 40.1 釜石湾 15.7 40.7 門之浜湾 13.3 40.2 (右は平年比 △高▽低)	宮古湾 14.6 40.1 釜石湾 15.9 40.6 門之浜湾 13.6 40.5 (右は平年比 △高▽低)	宮古湾 14.6 40.3 釜石湾 15.9 40.5 門之浜湾 14.0 40.9 (右は平年比 △高▽低)	宮古湾 14.6 40.4 釜石湾 16.0 40.5 門之浜湾 13.6 40.2 (右は平年比 △高▽低)
あすの暦 11月25日 (旧 10月11日) 日出 8:30 日入 16:14 月出 13:38 月入 0:24 月齢 9.8	あすの暦 11月24日 (旧 10月10日) 日出 6:20 日入 16:14 月出 13:13 月入 — 月齢 8.8	あすの暦 11月23日 (旧 10月9日) 日出 6:28 日入 16:15 月出 12:46 月入 23:25 月齢 7.8	あすの暦 11月22日 (旧 10月8日) 日出 6:27 日入 16:15 月出 12:15 月入 22:26 月齢 6.8	あすの暦 11月21日 (旧 10月7日) 日出 6:26 日入 16:16 月出 11:40 月入 21:27 月齢 5.8	あすの暦 11月20日 (旧 10月6日) 日出 6:25 日入 16:17 月出 10:59 月入 20:28 月齢 4.8	あすの暦 11月19日 (旧 10月5日) 日出 6:24 日入 16:17 月出 10:10 月入 19:31 月齢 3.8	あすの暦 11月18日 (旧 10月4日) 日出 6:23 日入 16:18 月出 9:13 月入 18:57 月齢 2.8

〈参考〉

気象庁のしごと

私たちの住んでいる日本は、大雨や暴風・地震と津波・火山噴火などによる災害をしばしば受けてきました。

気象庁はこれらの自然現象を常時監視するとともに気象・地震・津波・火山活動などに関する情報を発表しています。気象庁が発表する情報は、自然災害から国民の生命・財産を守るための防災気象情報のほか、交通の安全を支援する交通安全情報、農業・電力・観光など各種産業活動を支援する産業情報、国民の日常生活に役立つ生活情報、さらに人類の将来に警鐘を鳴らす環境気象情報などがあり、各方面で多様な役割を果たしています。

気象庁では、予報・警報・そのたの情報を関係省庁や地方公共団体・報道機関（新聞社や放送局）などに提供することにより、災害の防止・交通安全の確保・産業の発展への寄与・国民生活の利便の向上を図っています。

新聞の特性について

この「新聞を読もう」という1～3の実践活動をとおして、新聞の特性について考える機会としたわけですが、その結果子どもたちからは次のような意見が出されました。

「テレビはその時だけだけど、新聞はあとからじっくり読めるよ。」
 「記事やテレビ欄などいろいろなものが載ってておもしろいよ。」
 「新聞は紙が大きくて、めくりにくいかな。」
 「写真が入っていていいな。」
 「知ってる人や学校が載っているとうれしいよね。」
 「四コママンガっておもしろいよ。この前の事件のことが出てたんだよ。」

新聞・テレビ(民放・NHK)・ラジオ・雑誌・インターネットについて評価調査をした資料があります。

〈参考〉メディアの特性

(社)日本新聞協会「2001年全国メディア接触・評価調査」より

	項目	ラジオ	テレビ	雑誌	新聞	インターネット	備考
メディア機能	1 報道性	○	○	△	◎	○	
	2 記録性	△	△	△	◎	◎	
	3 娯楽性	○	◎	◎	△	△	
	4 詳報性・解説性	○	◎	◎	◎	○	* 教育性
	5 選択・順位	△	△	△	◎	△	
	6 一覧性	×	×	×	◎	△	
	7 確認性・反復	△	△	◎	◎	△	* 活字・印刷
	8 双方向性	○	◎	△	◎	○	
	9 手軽さ・携帯	○	△	○	◎	△	* 可搬性
情報の内容	10 正確・真実性	○	○	△	◎	△	
	11 客観性	○	○	△	◎	×	
	12 分かりやすさ	○	◎	○	△	△	
	13 同時性	◎	◎	△	○	◎	* 速報性
	14 臨場感・迫力	△	◎	△	○	△	* 視覚性

(◎：優れている ○：まずまずである △：劣っている ×：より劣っている)

上の表からは次のことが分かります。「情報源として欠かせない」「社会に対する影響力がある」「情報内容が信頼できる」「世の中の動きを幅広くとらえている」「地域や地元のことがよく分かる」「読んだ(見た・聞いた)ことが記憶に残る」の項目は新聞のスコアが特に高く、新聞の特性を表しています。

新聞であそぼう

ねらい

・新聞は読む以外にもいろいろな利用のしかたで楽しむ事ができる。

新聞であそぼう とは

新聞紙を使ってあそぶ、楽しいゲームの数々です。

ここでは、「かぶとと剣」・「新聞渡りリレー」・「新聞ファッションショー」・「新聞ビリビリ」の4つのゲームを紹介します。

1. かぶとと剣

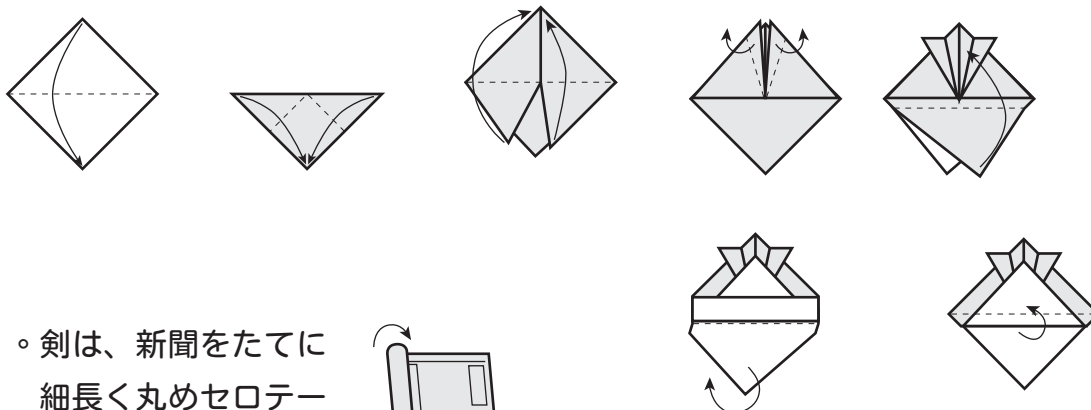
二人向かい合った真中に、新聞で作った「かぶと」と「剣」を置き、ジャンケンをして勝った人が「剣」で相手をたたき、負けた人は「かぶと」をかぶって相手の攻撃を防ぐゲームです。

準備

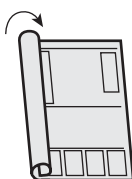
- ① 新聞
- ② セロハンテープ

「かぶと」と「剣」の作り方

・新聞で折り紙を折る要領で「かぶと」をつくります。



・剣は、新聞をたてに細長く丸めセロテープでとめます。



2. 新聞渡りリレー

各チームが2枚の新聞をバトンにして、飛び石の要領で1枚ずつ交互に前に置いて渡って行き、次ぎの人にタッチします。それを繰り返し、早く全員が終わったチームが勝ちとなるゲームです。



準備

- ① 新聞
- ② セロハンテープ

「新聞バトン」の作り方

- 新聞を何枚か重ね、四つ折にして周りをセロテープできっちりととめます。
- 同じ物を1チームにつき2つつくります。

ワンポイントアドバイス

- 人数が多くても少なくてもできるゲームです。
- 新聞バトンを運ぶ人と新聞バトンの上を渡る人の二人一組で、リレーをするやりかたもあります。



3. 新聞ファッションショー

みんなで想像力を膨らませながら、新聞を使っていろいろな洋服を作り、ファッションショーをして楽しむ遊びです。

準備

- ① 新聞
- ② はさみ
- ③ のり
- ④ セロハンテープ
- ⑤ ホッチキス



ワンポイントアドバイス

- 服は、着付けをしながらつくっていく方が、破れたりせずうまくいくようです。
- ホッチキスを使うときには、着ている服まで留めてしまわないように注意しましょう。

4. 新聞ビリビリ

1枚の新聞紙をひたすら長く、長く裂いていきます。誰が長く裂けるかな？
1番長く出来た人が勝つゲームです。



準備

- ① 新聞紙

ワンポイントアドバイス

- 新聞にも紙の目があることに気づかせましょう。どのように裂いたらうまくできるか、いろいろ試してみるとよいでしょう。
- 時間制限を設けてもよいでしょう。

5. その他

新聞をつかってのあそびには、「お花づくり」や「紙でっぼうづくり」など、他にもいろいろなものがありますが、工夫次第でどんどんあそびのバリエーションを広げていくことができます。

新聞まめちしき その3

新聞広告事始

本格的な広告 …………… **慶応3年創刊の「万国新聞紙」**
日本人初の広告主 …… **中村嘉兵衛**
広告した品物 …………… **パン・ビスケットなど**

我が国邦字新聞で、初めて広告をのせたのは、文久3年(1863年)9月15日号の「日本貿易新聞」という筆写新聞です。しかしながらこの広告は、英字新聞「ジャパン・コンマーシャル・ニュース」の英文広告を記事と共に翻訳し転載したもので、広告主の依頼によって掲載する本来の姿の新聞広告というものではありません。

慶応3年(1867年)に創刊された「万国新聞紙」は、1月発行の第一集から、数多くの広告を掲載しました。内容は、時計・外国衣類・鉄砲・馬具・諸機械・薬品・外国書籍・食品などの品々から医術・海外渡航のあっせん・移転・解雇の通知・語学教授や出版広告までと多彩で、第一集8件、第二集には14件の広告がみられ、第三集には広告欄に「広告」という用語まで使用、日本人最初の広告主、中村嘉兵衛がパン・ビスケットなどの品々を販売する広告も登場しています。

(太陽コレクション かわら版新聞より)

新聞まめちしき その4

おおこ 大新聞と小新聞とは

明治10年代の新聞界は、といっても東京や大阪を舞台にした話であるが、大体「大新聞」と「小新聞」の二つの型に分かれていたようである。

「東京日日新聞」「朝野新聞」「東京横浜毎日新聞」「時事新報」等

<内 容> 政論新聞。記事は硬い政治問題で文章は文語体、難しい漢字にも一切ルビ（ふりがな）をつけず、挿絵もなく、連載小説は載せず、街頭での呼び売りもしなかった。

<読者層> 政治家や官吏・軍人・学生・資産家など上流階級に限られていた。

<定 価> 三、四十銭で高く、特に「郵便報知新聞」は、八十三銭と非常に高かった。

「読売新聞」「東京絵人新聞」「有喜世新聞」「朝日新聞」等

<内 容> 記事は社会種（殺人・泥棒・火事・心中など）で平易な口語文を用い、漢字にはルビをつけ、ひらがなさえ読めれば誰でも読むことができた。木版の挿絵も入れ、連載小説を呼び物とした。町町への呼び売りにも力を入れた。

<読者層> 一般の庶民に人気があった。

<定 価> 月二十銭内外で安かった。明治15年頃から部数全国一を誇って独走を続けた大阪の「朝日新聞も」小新聞であった。

大新聞は何かにつけて、小新聞を見下し「何を小新聞めが」とお高くとまっていた。

(太陽コレクション かわら版新聞より)

ゲーム通じて 新聞に親しむ

北上・ぴびっとクラブ

北上市の「ぴびっと」クラブは、活動の一環で、PT(研究会)小笠原味 佐枝会長)が開校する小学生対象の新聞教室「子どもぴびっとクラブ」は六月、同市大通りの市生涯学習センター「遊・YOU学園」で開かれた。三回目となる今回は、児童が新聞用語などを学んだ。三回目となる今回は、児童が新聞用語などを学んだ。



児童がビンゴゲームに挑戦した「子どもぴびっとクラブ」

このうち新聞用語では、あらかじめ用意された「四コマ漫画」「テレビ観」「社会画」などという言葉を、板の中に書き込み、ビンゴを目指した。また、あつていく。残り二回の活動はすべて土曜日同センターで行う。時間は午前十時から正午まで。問い合わせは小笠原会長0197-075811へ。

楽しみながら新聞に触れる

北上・子どもぴびっとクラブ

北上市の「ぴびっと」クラブは、活動の一環で、PT(研究会)小笠原味 佐枝会長)が開校する小学生対象の新聞教室「子どもぴびっとクラブ」は六月、同市大通りの市生涯学習センター「遊・YOU学園」で開かれた。三回目となる今回は、児童が新聞用語などを学んだ。三回目となる今回は、児童が新聞用語などを学んだ。



この日行われ、写真やイラストなど、新聞の面白さを伝える活動が行われた。

遊び通じ「読む」「書く」力磨く

この日行われ、写真やイラストなど、新聞の面白さを伝える活動が行われた。この日行われ、写真やイラストなど、新聞の面白さを伝える活動が行われた。

この日行われ、写真やイラストなど、新聞の面白さを伝える活動が行われた。この日行われ、写真やイラストなど、新聞の面白さを伝える活動が行われた。

新聞って面白い

北上・子どもぴびっとクラブ



紙面作り本紙で学ぶ

児童11人が、ゲーム感覚で紙面作り本紙で学ぶ。児童11人が、ゲーム感覚で紙面作り本紙で学ぶ。

児童11人が、ゲーム感覚で紙面作り本紙で学ぶ。児童11人が、ゲーム感覚で紙面作り本紙で学ぶ。

北 上

新聞をより身近に

市民 子供向け「親しむ会」開催

新聞を教えた活字類
 北上市の市民団体「**ぴびっと研究会**」が、児童が新聞の制作過程を体験する「**親しむ会**」を開催した。同日は、黒沢尻北小の児童が、新聞の制作過程を体験する「**親しむ会**」を開催した。同日は、黒沢尻北小の児童が、新聞の制作過程を体験する「**親しむ会**」を開催した。



毎日小学生新聞を材料に新聞作りを学ぶ児童たち＝北上市で

同日は、黒沢尻北小の児童が、新聞の制作過程を体験する「**親しむ会**」を開催した。同日は、黒沢尻北小の児童が、新聞の制作過程を体験する「**親しむ会**」を開催した。

「**親しむ会**」は、毎日新聞北中央専売部が主催する。同日は、黒沢尻北小の児童が、新聞の制作過程を体験する「**親しむ会**」を開催した。

新聞 2003年(平成15年)7月6日(日曜日)



新聞のスクラップ作り挑戦する子どもたち

スクラップ作りに夢中

「ぴびっとクラブ」の児童参加

「**ぴびっとクラブ**」の児童が、新聞のスクラップ作りを夢中になって取り組んでいる。黒沢尻北小5年生の児童が、新聞のスクラップ作りを夢中になって取り組んでいる。黒沢尻北小5年生の児童が、新聞のスクラップ作りを夢中になって取り組んでいる。



紙面からカタカナを探す真剣な表情の子供たち＝北上市の生涯学習センターで

年齢層分け新聞に親しむ

小学1～6年生の児童30人ほどが、じつと新聞に見入っている。紙面からカタ

ぴびっと研究会

カナで書かれた単語を見つけて、スクラップ作りをした。1人が「あつた」「ニユース……」と声をあげると「え、どこ見つけたのよ」と、他の子が「一斉に探し出す。紙面を見める彼らのまなざしは、大人と変わらない。」

原田佐枝さん(64)と児童たちの親が集まった。1年生たちは新聞の広げ方すら分からなかったという。浜智子さん(64)は「新聞に触れたこともなかったのだよ」と、振り返る。床に座らせ、一緒に新聞を広げる。順番にめぐり、読み方も教えた。すると子どもたちは、自ら新聞を広げ、のぞき込むようになったという。

今年5回の研究会では、テーマ別に見出しを切り抜いた。連絡先 小笠原代表(0197・64・0758)

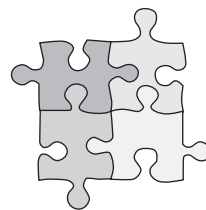
ぴぴっと(PPT)とは・・・

Paper (新聞)

Practice (実践)

Theory (理論)

Philanthropy (社会貢献)



ぴぴっと(PPT)研究会の主な活動

- ① 新聞関係各種講習会
- ② 子どもぴぴっとクラブ
- ③ びよびよぴぴっとクラブ
- ④ 新聞を読んで今を語る会 (通称：まうすりい)
- ⑤ ぴぴっと相談室 (子育て・新聞作り企画アドバイス)
- ⑥ 広報活動 (会報・ホームページ等々)

おわりに

私たちぴびっと（PPT）研究会が主催する「子どもぴびっとクラブ」には、1年生から6年生までの子どもたちが、毎回元気にやって来ます。年にたった5回の開催ですが、新聞を使ってのいろいろな活動をとおして、私たちも子どもたちと楽しい時間をすごしています。

普段の生活の中で子どもたちが新聞とふれあうことは、あまり多くはないようです。

子どもたちに聞いてみました。「新聞はね、朝お父さんが見てるよ。」「今日のおもしろいテレビは何か？って調べるのに新聞見るよ。」「テレビはいつも見てるけど、新聞はあんまり見ないな」等々。

そんな子どもたちにとって、「子どもぴびっとクラブ」での新聞とのかかわりは、ある意味とても新鮮で楽しめる活動にもなっているようです。そして、私たちスタッフにとってもそれはとてもうれしい反応であり、わたしたちの小さな自信ともなっているのです。

はじめて手にした新聞をどのように開いてよいかも分からず、

とまどっていた1年生の子。

紙面からカタカナを一心に探す子。

はさみ片手に、気に入った写真を大胆に切り抜く子。

「ぼくね、こんな風につくったんだよ。」と、

スクラップを楽しそうに差し出して見せてくれる子。

そんな毎回の活動の中で、少しずつ子どもたちとの距離をつめながら、小さな実践を積み重ねてきました。今回、この実践活動をマニュアルとしてまとめるにあたって、あらためてこの活動の意義やあり方について再認識する機会ともなりました。学校のNIE活動とは少し離れた地点で、より自由な立場にたって小さなNIE活動を続けて行けたらと思っています。そして今後とも、ちょっと知的な好奇心をくすぐりながら、新聞の楽しさ・情報源としての有用性・奥深さなど、子どもたちに伝えていければと願っています。

このマニュアルを発行するにあたり、ご多用の中玉稿を賜りました全国新聞教育研究協議会会長吉成勝好様、岩手日日新聞社記者 北村亮様をはじめ、多大なるご指導・ご協力を頂いたみなさま方に心よりお礼申し上げますと共に、今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

ぴびっと（PPT）研究会一同

新聞の力の大きさを信じて

「子どもびびっとクラブマニュアルⅡ」の校了が目前の、平成23年3月11日午後2時46分東北地方太平洋沖地震は発生した。北上市内も震度5強、停電、断水、翌日も翌々日も新聞は届かず、情報不足に困惑、あらためて新聞の果たす役割の大きさを知らされた。

用紙不足をはじめ印刷機械の故障などもあり、一時はどうなることかと心配したが、印刷所の皆さんの不眠不休の努力により、予定通りマニュアルは発行することができた。

東日本大震災の大きな余震（4月7日再び震度5強）がやや静まりかけた新学期早々「子どもびびっとクラブマニュアルⅡ」と「びびっと新聞かるた」をセットで北上市内小学校（各学級1セット）へ配布することができた。セットを手にした方々は、マニュアルの内容がたいへん参考になる・かるたの絵が新鮮・読み札が子どもらしい表現で楽しい・中学校の支援学級にもほしいなど、今年度から導入される小学校学習指導要領に新聞活用が明記されたこともあって現場では思いのほか好評であった。

びびっと（PPT）研究会として、東日本大震災の支援活動に着手していた矢先、沿岸被災地を訪問する機会があった。このとき若干のセットを持参した。帰宅すると、もっとほしいなどの電話や手紙が届き、「マニュアル」や「かるた」での被災地支援活動への励みとなった。

震災当初、被災者が最も求めていたのは身近の正確で詳細な情報だった。通信が途絶え輪転機も回せぬ中で、新聞発行を継続しようとする熱い使命感のもと、手書きの壁新聞を作り避難所に張り出した新聞社。道路が寸断されガソリンが枯渇するなか、輸送網を死守し、読者の元に新聞を届けようとする新聞販売店。避難所住民を元気にしたい、そのために自分たちが元気で明るくがんばりたい、新聞は常にオピニオンリーダーだからどんな困難があっても学校新聞を発行し、みんなを引っ張っていこうとする児童の姿に胸を打たれた。新聞もその使命を果たすべく、あらゆる手だてを駆使して「新聞を必要としている読者のために」報道し続ける日々があった。

大震災から半年後の9月、地元紙岩手日報が「東日本大震災一連の報道」、写真企画「平成三陸大津波」で新聞協会賞をダブル受賞。当研究会としても支援活動への思いをさらに強くした。

今年は子どもびびっとクラブの活動を開始してから、10年目の節目の年である。新聞の無限の可能性を信じ、各種の新聞から学び、子どもの活動から元気・勇気・夢をもらい、微力ながら今まで地域でNIE活動を継続することができた。

この節目の年に、平成23年度独立行政法人福祉医療機構助成（福祉活動支援事業）を受け、平成16年度作成の「子どもびびっとクラブマニュアルⅠ」、平成22年度作成の「子どもびびっとクラブマニュアルⅡ」と「びびっと新聞かるた」を再版し、「大震災地域に於けるNIE活動支援事業」として活動できることは望外の喜びである。

この事業を実現するにあたり、指導助言および支援・協力を賜りました方々、そして、この「ちいさなNIE実践記録集——マニュアルⅠ・Ⅱ」と「かるた」を手にしていただいた皆さまに心からの敬意を表するとともに感謝申し上げる次第である。

平成23年10月31日

びびっと（PPT）研究会一同

ぴびっと (PPT) 研究会

子どもぴびっとクラブマニュアル I

新聞にさわろう あそぼう たのしもう

—— ちいさな N I E 実践記録集 I

発行年月日 平成16年 3月31日 初版
平成23年10月31日 再版

代 表 者 小笠原 味佐枝

所 在 地 024-0012 岩手県北上市常盤台一丁目14-12

TEL&FAX 0197-64-0758

E - m a i l agi@titan.ocn.ne.jp

ホームページ www.pipitto.net/index.html

印 刷 所 (有)北上プリント
024-0091 岩手県北上市大曲町 2-13
TEL 0197-64-7082 FAX 0197-63-4543

平成15年度独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」助成事業
平成23年度独立行政法人福祉医療機構助成（福祉活動支援事業）